



円安が進む中、飼料の多くを輸入に頼る日本で、未利用資源の飼料化は肉用牛経営での飼料

乳用種去勢肥育牛の産肉成績

	慣行区	10%代替区
1日増体重 (kg/日)	1.19	1.13
枝肉重量 (kg)	473.8	464.5
ロース芯面積 (cm)	42.0	46.3
脂肪交雑	2.3	2.3

※有意差なし

## 廃菌床を肉用牛飼料に 配合飼料10%を代替 慣行と同等の産肉性

費低減に有効な方策です。県内の未利用資源の一つに、エノキタケやエリンギの生産過程で発生するおがくずを含まないコーンコブ(トウモロコシの芯)主体の廃菌床(以下廃菌床)が、体に優れ、牛の嗜好(しこう)性も高い飼料となることを明らかにしています。コストは、材料費と作業労賃を含め可消化養分総量(TDN)1キダり43円となり、配合飼料と比較して約半分で利用できます。そこで、廃菌床サイレーシを乳用種去勢肥育牛に給与し、飼料摂取量と産肉性に与える影響を検討しました。

その結果、乳用種去勢肥育牛では、配合飼料の10%を廃菌床サイレーシに代替しても慣行給与と同等の飼料摂取量と産肉性を示し、乳用種去勢肥育用の飼料として活用できることが明らかになりました。活用する場合は、嗜好性を良くするために配合飼料と十分混合して給与すること、変敗を防ぐためサイレーシ開封後は速やかに給与することに留意してください。

ります。その量は年間5800トに上り、堆肥以外には有効利用されていません。畜産研究部門では、これまでに廃菌床の飼料化を検討し、廃菌床に糖蜜や米ぬかを混合しサイレーシ化することで、保存性(県農林技術開発センター・永井晴治)

今後は、廃菌床サイレーシにどこまで代替できるかの検討を含め、交雑種去勢肥育牛での肥育試験に取り組む予定です。